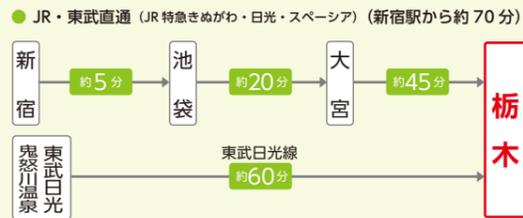
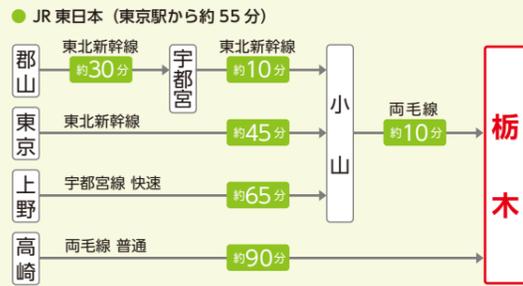
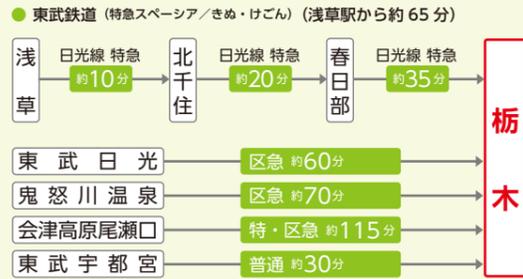


交通のご案内



電車利用



お車利用



【お問い合わせ】

栃木市 住宅課 〒328-8686 栃木市万町 9-25

☎ 0282-21-2453

FAX.0282-21-2676

メールアドレス: jyutaku@city.tochigi.lg.jp

ホームページ: www.city.tochigi.lg.jp



栃木市章

デザインコンセプト

緑色の4本のラインは「自然」、「歴史」、「地域」、「人」を表し、青色はこれらがひとつとなった大河の流れを、その先にあるオレンジ色の円は輝かしい未来と人々の情熱を表しています。いままでの歴史を受け継ぎ、明るい未来へと続くイメージを栃木市の「と」の文字をモチーフに表現しました。



栃木市マスコットキャラクター とち介

とち介で暮らそう

Vol.2



住みたい田舎
ベストランキング (宝島社)

若者世代・子育て世代 全国 No.1 栃木市

若者世代・子育て世代が住みやすい街 シニア世代に優しい街



データで見る栃木市

項目	数値	県内順位	出典	
人口	159,211人	3位	H27 国勢調査	
面積	331.50 km ²	8位	H27 国土地理院	
商業	事業所数	1,527所	3位	H26 商業統計調査
	商品販売額	2,776億5,800万円	4位	H26 商業統計調査
工業	事業所数	426所	3位	H26 工業統計調査
	製造品出荷額等	8,981億5,070万円	2位	H26 工業統計調査
農業	農家戸数	5,461戸	1位	2015年農林業センサス



そんな栃木市で
あなたも暮らしてみませんか



栃木市ってどんなところ？

栃木県の最南端に位置し、東北自動車道と北関東自動車道の結節点となるため市内には「佐野藤岡」・「栃木」・「都賀」と3つのインターチェンジがあり、都内へ1時間程度で行くことが可能です。さらに東武鉄道が市内を縦断し、東京駅へ最短55分、新宿駅までの直通電車もあり、都内への通勤・通学が可能です。

古くは飛鳥時代から平安時代にかけて「下野国庁」が置かれ、江戸時代には「日光例幣使街道」の宿場町として栄える一方、市内を流れる巴波川の舟運により、北関東随一の商都と呼ばれるほどの発展を遂げました。

東には豊かな田園、西には「太平山」、南には「渡良瀬遊水地」、北には昔懐かしい里山風景が広がるなど自然に恵まれ、また、地震や雪の影響も少なく、大変住みやすいまちです。

歴史のある街並み

栃木市は、江戸時代より京都から日光に至る例幣使街道が通る宿場町でした。例幣使街道の一部は、現在の中心街をなす大通りや、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された「嘉右衛門町（かうえもんちょう）地区」であり、黒塗りの重厚な見世蔵や白壁の土蔵群が今も残っています。



県名発祥の地

市の中心部にある神明宮神社には、その昔、天照大神を祀る神明祠があり、その棟に10個の千木（ちぎ）がついていたことから「十（とお）の千木」、「とちぎ（栃木）」と名付けられたとも言われています。

明治初期には栃木県庁が置かれ、その周囲に張り巡らされた県庁堀と呼ばれる堀には、たくさんの鯉が泳いでいます。



渡良瀬遊水地

3,300ha（東京ドームの約700倍）の日本最大の遊水地で、2012年、国際的に重要な湿地として「ラムサール条約」に登録されました。

広大なヨシ原は貴重な動植物の宝庫である一方、市民の憩いの場として野鳥観察や魚釣りを楽しむ人も多く、バルーンレースや自転車レースなども行われています。



太平山

桜や紅葉の名所であり、山頂に近い謙信平から関東平野が一望でき、その景観は、陸の松島と称されています。

天気の良い日には東京副都心の高層ビル群や富士山を見ることができます。

蔵の街遊覧船

市の中心部を流れる巴波川（うずまがわ）の遊覧船に乗ると、江戸時代にタイムスリップしたようで、船頭が歌う栃木河岸船頭唄を聞きながら眺める蔵の街並みは、格別の風情を感じさせてくれます。



とちぎ秋祭り

江戸末期から明治にかけての美術工芸の粋を集めた豪華絢爛な人形山車、山車同士がお囃子を競い合う「ぶっつけ」が一番の見どころで、江戸との舟運で栄えた往時を彷彿とさせます。

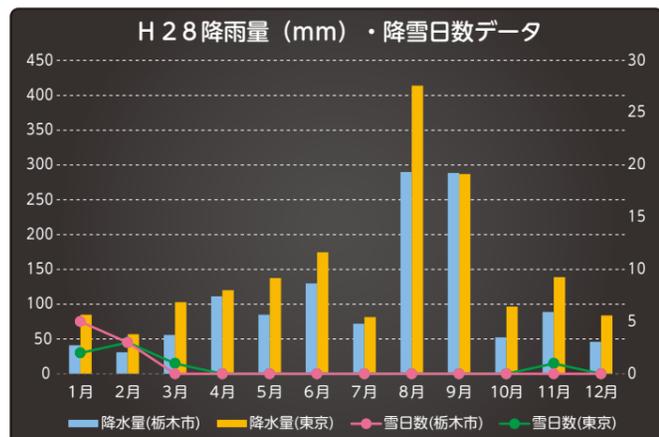
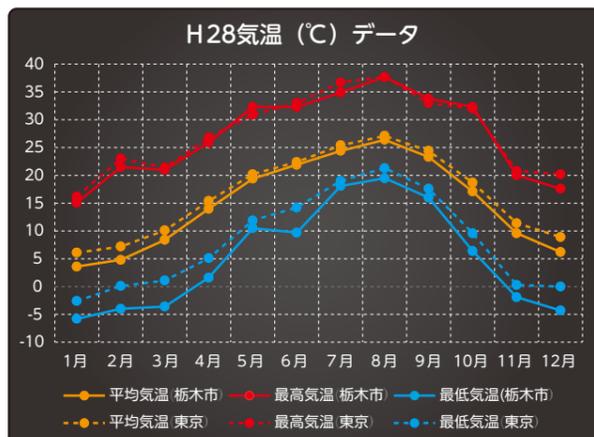


蔵の街美術館

約 200 年前に建てられた通称「おたすけ蔵」を改修利用した記念碑的な建物です。漆喰でできた重厚な壁や天井を走る巨大な梁が織りなす空間と美術品の競演は、展覧会ごとに変化に富んだ表情を見せます。

栃木市の気候について

栃木市の平均気温は東京とほとんど差がなく、雪もほとんど降りません。



出典：栃木市消防年報平成29年版 気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/>) ※過去の気象データ (2016年東京都東京) を編集して作成

～栃木市で暮らしたくなったなら～

移住までの流れを簡単にご案内

まず家族と相談しましょう

どんな目的で、どんな生活をしたいのか、家族でじっくり考えましょう。



先輩移住者の体験談も参考にしてみてください。
『移住者の声インタビュー 13P～14P』



地域の情報を集めましょう

住まいや、仕事、医療機関、教育環境など、暮らしに必要な情報を集めましょう。



栃木市では毎年、手軽に参加できる移住促進日帰りバスツアーを開催しています。「百聞は一見にしかず」まずは観光気分で栃木市を体感してみませんか。



移住体験をしてみましょう

栃木市の暮らしを体験してもらうため「蔵の街やどかりの家」を用意しました。



いつでも、何度でもご利用が可能です。
『蔵の街やどかりの家 15P～16P』
『やどかりの家利用者の声 17P～18P』



仕事・住まいを探しましょう

栃木市では就職や住居探しのサポートを行っています。



栃木市の空き家バンク制度「あったか住まいるバンク」は栃木県内実績 No.1! 専用 HP (<http://www.tochigi-akiya.jp/>) で空き家情報を毎日発信中です。



いざ移住！新生活を楽しもう！

引越しが完了したら、いよいよ新生活のスタートです。住居周辺の情報収集を兼ねて、ご近所に挨拶に行ってみては？



新たな発見を重ねながら、「住んでよかった！」と言える生活を送りましょう。

おすすめ補助制度

Check1. 「IJU（移住）補助金」

- 【対象者】 市街化区域に家を新築・購入（H28年4月～H30年3月の契約）した転入者
- 【補助金額】 新築住宅：30万円 中古住宅：20万円
- 【若年世帯加算】 所有者・配偶者どちらかが40歳未満：10万円（50歳未満：5万円）
- 【子ども加算】 18歳未満の子ども1人につき10万円
- 【勤労者加算】 市内勤務：10万円 市外勤務：5万円



Point!

≪モデルケース：新築住宅、35歳、子ども2人、市内勤務の場合≫

補助金合計 **70万円** (30万円+10万円+10万円×2+10万円)

「多世代家族住宅新築等補助金」

- 【対象者】 市街化調整区域に3世代以上が同居または近居するための家を新築・購入・増改築（H28年4月～H30年3月の契約）した方

【補助金額】 **20万円** Point!

Check2. 「[フラット35] 子育て支援型・地域活性化型」

- 【対象者】 Check1の「IJU(移住)補助金」に該当する方
- 【内容】 長期固定金利住宅ローン【フラット35】を利用して住居を取得すると、当初5年間、借入金利が0.25%引下げ！
さらに【フラット35】Sとの併用で、当初5年間、0.50%も引下げとなります！



借入額が3,000万円の場合、約 **108万円**もお得に！ Point!

※借入金利年1.12%、借入期間35年、元利均等返済、ボーナス返済なし、【フラット35】S(金利Aプラン)と【フラット35】子育て支援型・地域活性化型を併用(当初5年間、年0.50%引下げ)した場合の試算
※【フラット35】は住宅金融支援機構の住宅ローン商品です。

Check3. 「通勤者特急券購入費補助金『楽賃(らくちん)』」

都内まで電車でおよそ1時間の栃木市なら、都内通勤が十分可能！
『楽賃』を使えば特急列車でぐらぐら都内通勤も可能です！

【対象者】 東武鉄道を利用して都内へ通勤する方

【補助金額】 特急券購入費用に対し、1月最大 **1万円** Point!

(特急利用に対する手当が支給されている場合、その額を除きます。)



Check4. 「結婚新生活支援補助金」

新たな生活の始まりには何かとお金がかかるもの。栃木市は、幸せいっぱいな二人の新生活のスタートをお手伝いします！

- 【対象者】 次の3つの条件を満たす夫婦
平成29年1月31日～平成30年3月31日に婚姻したこと
昨年の2人の合計所得が340万円未満であること
婚姻時の年齢が夫婦合わせて70歳未満であること



【補助金額】 住宅の購入・賃借費用及び引越費用の合計額に対し、最大 **24万** Point!

Check5. 「空き家バンクリフォーム補助金」

空き家バンク制度を利用して、おトクな古民家を理想の住まいに復活させてみてはいかがでしょうか？
栃木市では、空き家を有効活用してくださる方をお待ちしています！

- 【対象者】 「あったか住まいるバンク」登録物件を購入・賃借し、リフォーム工事や家財処分を行う方

【補助金額】 リフォーム工事費用の2分の1について最大 **50万円** Point!

(工事費用が20万円未満は対象外)

家財処分費用について最大 **10万円** Point!

(処分費用が5万円未満は対象外)



《栃木市の空き家バンク制度「あったか住まいるバンク」は県内実績 No.1！まだまだ使える市内のおトクな空き家情報を、専用HP (<http://www.tochigi-akiya.jp/>) にて毎日発信中です！》

問合せ先 栃木市住宅課定住促進係 ☎0282-21-2543 まで！

まだまだあります

移住・定住の応援制度

住まい

事業名	制度の内容	担当課
空き家等改善資金利子補給金	空き家を補修し活用するために改善資金を借り入れる場合、200万円までの借入金に対する利子を補給。	住宅課
木造住宅耐震診断費補助金	昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された住宅に対する耐震診断等に必要経費の一部を補助。 ・耐震診断費用：3万円まで ・補強計画策定費用（補助率2/3）：8万円まで	建築課
木造住宅耐震改修費等補助金	昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された住宅の耐震改修等に必要経費の一部を補助。 ・耐震改修費用（補助率1/2）：100万円まで ・耐震建替費用（耐震改修費用相当分）（補助率1/2）：80万円まで ・市内事業者加算（耐震改修・耐震建替）：20万円まで ・県産出材使用加算（耐震建替）：10万円まで	
とちぎ材の家づくり支援事業（栃木県事業）	栃木県産出材を利用し、自ら居住するための木造住宅（原則として軸組工法）を新築する建築主に対する助成。 ・栃木県産出材使用量10㎡以上（最高60万円）	栃木県環境森林部 林業木材産業課
勤労者住宅資金融資	市内に自ら居住する住宅の新築・増改築又は分譲住宅の購入並びに宅地購入資金に対し、年利2.50%で2千万円までの融資を行う。 同一事業所に1年以上勤務しており、今後も引続き同事業所に勤務する方、年収の1/12の額が毎月の返済金の5倍以上となる方（同一世帯の方の収入を加算）が対象。	商工振興課
生垣設置奨励補助金	住宅敷地の境界に3m以上の生垣を設置する場合、1m当たり2千円（3万円まで）を補助。 生垣1m当たり、高さ80cm以上の樹木が2本以上必要。	公園緑地課
浄化槽設置補助金	公共下水道認可区域外及び農業集落排水処理区域外で、専用・併用住宅に浄化槽を設置する個人に対する補助。 ・5人槽：33万2千円まで ・6～7人槽：41万4千円まで ・8～10人槽：54万8千円まで ・敷地内処理装置、単独処理浄化槽撤去：10万円まで	下水道業務課
雨水貯留・浸透施設設置補助金	専用・併用住宅に雨水貯留・浸透施設を設置する個人に対する補助。 ・雨水貯留施設（補助率1/2）：3万円まで ・雨水浸透施設（補助率1/2）：5万円まで	
住宅用太陽光発電システム等設置費補助金	住宅に設置する又は住宅購入の際に設置されている太陽光発電システム等の費用の一部を補助。 ・太陽光発電システム（2万5千円/1kw）：10万円まで ・定置型蓄電池（補助率1/10）：10万円まで	環境課
生ごみ処理機設置費補助金（電気式生ごみ処理機設置費補助金）	自宅用生ごみ処理機の購入費用の一部を補助。 ・コンポスト、堆肥化促進容器購入費用（補助率2/3）：5万円まで ・電気式生ごみ処理機購入費用（補助率1/2）：2万円まで	

仕事

事業名	制度の内容	担当課
空き店舗活用促進事業補助金	対象区域内において、商店会及び商工会議所等に参加し、空き店舗を活用して事業を行う方に対する補助。新規開業者又は中小企業者で、新たに小売業、飲食業又はサービス業（事務所、風俗業、飲酒業及び遊戯業を除く。）を営む方、まちづくりに寄与する活動を行う法人格を有する団体又は10人以上の非営利団体が対象。 ・店舗部分改装費（補助率1/2）：100万円まで ・開店後最長12か月分の店舗家賃（補助率1/2）：50万円まで ・営業開始から1年5回までの専門家相談費用（補助率1/2）：1回1万6千円	商工振興課
農業次世代人材投資資金（経営開始型）	就農前後の青年就農者に対し、年間150万円（最長5年間）の給付金を給付。	農業振興課
新規就農サポート事業	新規就農者に対し、農業経営に係る経費の一部を補助。 ・資材費、種苗費その他農業生産に係る経費や経営管理の合理化又は高度化のために導入する機器に係る経費など：30万円まで	
「なんとかしたい農」からはじまる事業	栃木市農業公社の農業機械施設バンクを利用して農業機械・施設を譲り受けた農業者に対し、譲受け及び修繕等に要する経費の一部を補助。 ・農業機械購入等（補助率1/2）：10万円まで（45歳以上は補助率1/3：5万円まで） ・農業施設購入等（補助率1/2）：40万円まで（45歳以上は補助率1/3：20万円まで）	

教育・保育

事業名	制度の内容	担当課
住みいる奨学金（定住促進奨学金）	学校教育法で定める高等専門学校（第4学年以上及び専攻科）、専修学校、短大、大学に進学する方または在学の方の内、経済的理由で就学が困難な方に対し、年間24万円の貸付を行う。 卒業後に本市に5年居住した場合は返還免除。	教育総務課
食物アレルギー対応学校生活管理指導表助成事業	市が指定する医療機関において、食物アレルギーを持つ市内小中学校児童生徒の学校生活管理指導表の作成費（2,000円まで）を助成。	保健給食課
学童保育料免除事業	同一世帯から2人以上の児童が学童保育を利用する場合の保育料を免除。 ・学童保育利用児童のうち次年少者：補助率1/2 ・学童保育利用児童のうち最年少者及び次年少者以外：全額補助	子育て支援課
学童保育料の寡婦（夫）控除のみなし適用	婚姻歴のないひとり親世帯に対し、税制上の寡婦（夫）控除が適用されるものとみなして学童保育料を減免。	
アレルギー疾患対応事業	市が指定する医療機関において、食物アレルギーを持つ保育園・幼稚園・認定こども園に在籍する児童の生活管理指導表の作成費（2,000円まで）を助成。	保育課
第3子以降保育料免除事業	認定こども園、幼稚園、保育所、小規模保育施設に通う児童のうち、原則18歳未満の児童を算定対象とし、第3子以降の児童の保育料を免除。	
保育料の寡婦（夫）控除のみなし適用	婚姻歴のないひとり親世帯に対し、税制上の寡婦（夫）控除が適用されるものとみなして保育料を減免。	
赤ちゃん誕生祝金支給事業	18歳未満の児童を養育している保護者で、新たに児童が誕生した方に祝金を支給。 ・第2子：1万円、第3子以降：2万円	子育て支援課

医療

事業名	制度の内容	担当課
こども医療費助成制度	中学生までのお子さんが、県内の医療機関等における入院・通院、院外処方に関する保険診療を受ける際の自己負担分を助成。	保険医療課
妊産婦医療費助成制度	妊婦さんが健康保険の適用になる診療を受けた場合、母子健康手帳の交付を受けた月の初日から出産した月の翌月まで、自己負担分を助成。	
ひとり親家庭医療費助成制度	ひとり親家庭の親と子が健康保険の適用になる診療を受けた場合、受給資格者証交付申請の属する月の初日から次の7月31日まで、自己負担分を助成。(毎年更新が必要、一定の所得制限あり)	
重度心身障がい者医療費助成制度	一定の障がいがある方が健康保険の適用になる診療を受けた場合、受給資格者証交付申請の属する月の初日(転入日)からの自己負担分を助成。	
不妊治療費助成制度	国内の医療機関において不妊治療を受けているご夫婦に対して、医療保険が適用されない治療費の内、医師により必要と認められた検査費及び治療費の一部を、年度内1回、15万円まで助成。(補助率1/2)	
不育症治療費助成制度	不育症と診断され国内の医療機関において不育症治療を受けているご夫婦に対して、医療保険が適用されない治療費の内、医師により必要と認められた検査費及び治療費の一部を、1年度30万円まで助成。(補助率1/2)	
小児インフルエンザ予防接種費用助成事業	満1歳から小学校入学前まで、インフルエンザ予防接種の費用を、年度内2回、1回につき2千5百円助成。(10月1日から翌年2月末日の期間)	
任意接種費用助成事業	今後定期接種化が検討されているワクチンについて接種費用の一部を助成。 ・ロタウイルス1価(ロタリックス):7千6百円(生後6週から24週まで、2回) ・ロタウイルス5価(ロタテック):5千3百円(生後6週から32週まで、3回) ・B型肝炎(定期対象外):3千3百円(生後2月から24月に至るまで、3回) ・おたふくかぜ:3千6百円(生後12月から60月に至るまで、1回)	
風しん予防緊急対策事業	先天性風しん症候群予防のため、妊娠を希望している女性とその配偶者及び妊娠している女性の配偶者に対して、風しん抗体検査及び予防接種の費用を助成。 ・抗体検査:2千円(1回まで) ・風しんワクチン:3千円(1回まで) ・麻しん風しん混合ワクチン:5千円(1回まで)	
高齢者インフルエンザ予防接種費用助成事業	65歳以上の方について、インフルエンザ予防接種の費用を、年度内1回、3千5百円助成。(10月1日から翌年2月末日の期間)	
妊婦健康診査事業	妊婦健康診査受診票により14回分の健診費用(最大9万5千円)を助成。	
妊婦歯科健康診査事業	指定医療機関において、妊娠中に1回、無料で受診可能。	

暮らしを豊かにする

その他の取組みなど

地域情報

- **FMくらら857(コミュニティFM放送局)**
栃木市エリアをカバーする、市民が主役のコミュニティFM放送。平時は、個性豊かなパーソナリティが地域のイベントや身近な話題・旬な話題を毎日放送し、災害発生時には、被害状況、避難情報などを速報します。

交通

- **蔵タク**
自宅から目的地まで送迎する予約制の乗合公共交通で、市民の皆さんの買い物や通院など、日常生活の足となっています。
- **ふれあいバス**
市民の足として、また、通勤・通学・観光の足として、市内10路線で運行しています。

地域医療

- **とちぎメディカルセンター**
急性期、慢性期、保健福祉の各機能を、3箇所の施設で分担し、相互に連携した地域医療を実施しています。市内にはその他個人病院が100か所以上あり、医療体制が充実しています。

市民活動

- **とちぎ市民活動推進センター くらら**
初めてのボランティアから、市民活動、NPO法人、協働に関することなど、市民活動を応援します。

仕事

- **ハローワーク栃木**
職業紹介、就労・職業訓練相談等を随時行っています。
栃木市神田町8-5 ☎ 0282-22-4135
- **栃木市創業トータルサポート窓口**
市と商工会議所及び各商工会が連携して、栃木市創業トータルサポート窓口を設置しています。創業塾の開催などのほか「栃木市空き店舗.com(<http://www.tochigi-akitenpo.com>)」サイト内で空き店舗の紹介もしています。
栃木市役所商工振興課 ☎ 0282-21-2371
栃木商工会議所 ☎ 0282-23-3131

出産・育児

- **両親(母親)教室**
安心して出産を迎えられるように、保健師、助産師、管理栄養士が、妊娠・出産・育児の正しい知識を3回のコースでお伝えします。勉強だけでなく、仲間づくりの場にもなっています。
- **生後2週間目全戸電話相談・赤ちゃん訪問**
人口比の保健師数が県内第1位の栃木市では、生まれて間もない赤ちゃんがいる全戸に対して「生後2週間目全戸電話相談」「赤ちゃん訪問」を行い、育児についてのご相談をお受けしています。
- **赤ちゃんの駅**
市内の様々な企業や施設が、乳幼児を連れて外出する際のオムツ替えや授乳のためにいつでも使える場所として、「赤ちゃんの駅」を用意しています。
- **ファミリー・サポート・センター**
子育ての手助けをしてほしい人とそのお手伝いのできる人が、登録をして会員になり、育児の相互援助を行う事業です。依頼に応じて0歳~小学校6年生までのお子さんを対象に、預かりや送迎などの援助を行います。
- **地域子育て支援センター**
地域の子育て拠点として、0歳から就学前の親子の交流の場の提供、子育てに関する相談・援助や子育て関連情報の提供を行います。
- **子育て世代包括支援センター「すこやか子育て相談室」**
母子健康手帳の交付、妊娠や出産・子育てに関する相談を、保健師や助産師などの専門職員がお受けします。

- **栃木市シルバー人材センター**
今までの経験や技術を活かして働きたい、収入を得たい、社会に貢献したいという高齢者にふさわしい仕事を提供します。
栃木市日ノ出町14-36 栃木市民会館2階 ☎ 0282-23-4165

- **とちぎ暮らし・しごと支援センター**
東京都内で専任の移住・交流相談員が、栃木へのUIJターンに関する相談を受けたり、栃木の魅力を発信しています。
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階 ☎ 080-9502-5985



三枝 史典さん・絵美子さんご家族

この街で、
子育ての輪がひろがっていく。

新しいライフステージ

以前は仕事の都合で宮城県に住んでいました。暮らしやすい場所でしたが、3人目の子が生まれてからは、子育てが追いつかなくなることが徐々に増えてきて、実家のある栃木県から、何度か親に手伝いに来てもらったことがありました。栃木県と宮城県を往来するとすると、もはや旅行ですから、申し訳なさを感じることもありましたね。

仕事も3年程度で転職になってしまいますので、転職にあわせて家族皆で引越しを繰り返すべし、それともどこかに自分たちの家を持つべきか、夫婦で少しずつ話しを進めていました。最終的には、子ども達に転校の負担を掛けさせないためにも、お互いの実家がある栃木県に戻ろうということになったんです。



栃木市で発見！

栃木市は、お互いの実家があるわけでもないですし、今までに縁のあった街というわけでもありません。ただ、なかなかお互いに納得できる場所が見つからなくて、少し範囲を広げて栃木市も見ようかということになって。そうしたら、ここだよって場所があっさり見つかりました。移住に関する補助制度も、各自治体でいただける額が結構違います。子ども1人につき加算のある栃木市は、3姉妹の我が家にぴったりでした。

子育て世代のご夫婦や子ども達がたくさん住んでいるということも、栃木市を選んだ決め手の一つでした。子ども達が一緒に大きくなっていくから、大人達も同じ感覚でお付き合いが続けられるので安心です。案外、これが最大の決め手だったかもしれませんが、家の目の前には遊び放題の公園があります。栃木市って街中にも郊外にも、公園がすごく多いんです。広い原っぱで、子ども達は自由に遊べるし、大人達はのんびりできるし、子育て世代からすると本当に魅力的。都会では、なかなかこうはいかないかな。

街が支えるたくさんの働き方

実は、現在の夫の職場は横浜市にあって、週末に栃木市に戻ってくる二地域居住をしています。平日の子育ては私一人になりますが、ご近所に恵まれていることもあって、子ども達は外で遊びすぎて帰るのが遅くなってしまいうくらい元気。でも、週末はお父さんのいる家にいたくしょうがないみたいです。栃木市には保育園・幼稚園入園前の子を持つママさんのサークルもたくさんあって、うちと同じような転勤族の方も参加しているので、お互いの悩みを相談し合うにも事欠きません。情報交換をし合ううちに、子育て仲間の輪がすごく大きくなっていました。

ご近所みんなで創る街

子ども達は、まるでクラブ活動みたいにいつも自宅前の公園で友達と遊んでいます。我が家の庭先が給水所みたいになることも。自分たちが暮らす地域の人、特に隣の人なんか知らないよという風潮がある中で、きちんとご近所としての雰囲気形成されている栃木市は、とても素敵な街ですよ。



子ども達が楽しく暮らす、
この街で暮らす。

荒木 信二さん・美恵さんご家族

見つけた我が家の新しい街

私は長崎県の出身で、大平地域の雰囲気によく似た町に実家があります。妻は福島県の奥会津、とても雪深い地域の出身です。気候も風土も全く違う出身ですが、職場がきっかけで知り合いました。結婚してからは長崎県に戻って働いていましたが、福島県にいる妻の両親の体調面での心配や、年に1回程度しか会いにいけなかったこともあって、もう少し近い所に住んであげたいなと考えることが移住のきっかけでした。ただ、私が九州出身ということもあって、雪国での暮らしにあまり自信がなくて。そこで、妻の実家に遠すぎず、雪が降らない地域を探していたら、栃木市が候補に挙がったんです。



準備は万端！やどかりの家

実は私達、移住の準備のためにやどかりの家を2回利用しています。毎回長崎県から来なければならぬ上に、移住の準備に時間が限られている私達にとって、生活に必要なものが揃っているやどかりの家は本当に助かりました。実際に暮らしてみても感じたことは、栃木市の生活にはやっぱり車が必要なんだということ。妻は長らくペー

パードライバーだったのですが、長崎で講習を受けたりして事前準備がしっかりできたのも、やどかりの家のおかげです。栃木市では生活に車が必要ではありませんが、むしろ車があれば、避暑地も海も温泉も、どこにでも簡単に行くことができるくらい、交通網が充実しています。電車で東京まで1時間程度ですから、気軽に都内にも出かけられるのも良いところですね。



子ども達が教えてくれること

子ども達は、先生方にしっかり見てもらえるところがいいかなと思って、小規模特認校（※）の小学校に通わせています。子ども達のことをすべての先生が知っていてくれますし、校長先生は毎日学校の前で声を掛けてくれて、まさに学校全体が家族といった感じでした。まったく別の地域から転校してくることになるので、少なからず不安はありましたが、ここを選んで本当に良かった。それに、水辺の活動という授業がこの小学校にはあって、以前は生き物に全然触れなかった子ども達が、「尻尾の赤いホウネンエビを捕まえたよ。ゲンゴロウは早くて捕まえられなかったよ。」って嬉しそうに教えてくれます。本当に遅くなりました。

この街の暮らしを楽しもう

移住直後は、周りに知り合いがほとんどいないことも多いでしょうから、夫婦同士でしか悩みを打ち明けることができないものですが、その地域に飛び込んでみれば、必ず仲の良い人もできますし、私達がそうだったように、その地域の話しかたで自然と身に付きます。不安に思うことなんて実は無いんです。子ども達は一時期、以前の地域が恋しくなったこともありましたが、今ではこっちの方が楽しいって。やっぱり、子ども達が楽しく暮らせることが私達夫婦には一番大切なことだと思っています。



※小規模特認校

周囲の豊かな自然を利用した特色ある授業を行う学校。学区に関わらず市内のどこからでも通学ができる。

試してみませんか？

『蔵の街やどかりの家』

栃木市に滞在して、移住後の生活に具体的なイメージを持ってもらうための施設、それが『蔵の街やどかりの家』です。昭和25年建築の建物は、襖や照明など細部にこだわりのある造りが魅力ですが、実は11年間も空き家になっていたもので、畳とお風呂を新しくした以外、ほぼ元のまま使用しています。

市の中心部にある県庁堀沿いの一角にあり、蔵の街の魅力を余すところなく堪能できます。この家で、栃木市の歴史や文化を肌で感じてください。



やどかりの家ご利用案内

対象者 栃木市に移住または二地域居住を考えている方

場所 栃木県栃木市入舟町 14-17

間取り 3LDK

設備・備品 バス、トイレ、キッチン、テレビ、エアコン、ファンヒーター、冷蔵庫、炊飯器、調理器具、オーブンレンジ、食器、掃除機、洗濯機、ドライヤー、Wi-Fi、駐車場（1台）、自転車（2台）

期間 1泊～1か月以内

利用料 1泊2,000円・1か月30,000円（光熱水費込）
※食費や交通費、生活に必要な消耗品は自己負担となります。

周辺情報 栃木駅まで車で5分、スーパー・百貨店・金融機関・市役所本庁舎まで徒歩5分。

利用方法 利用開始希望日の1週間前までに、インターネットから申込み。 ※電話、FAXによる申込みも可。

詳しくはコチラ！
「栃木市 移住体験」
tochigi-akiya.jp/trial/



遠藤 翼さん・百合子さん

繰り返すことで知る、
この街のたくさんの姿。



新しい街を探して栃木市へ

今の住まいは都内にあります。徒歩圏内で生活のすべてが揃うような場所ではありますが、ご近所の方との交流は一切ありません。東京って周りの人との交流がなくても、街に出ればいくらでも情報が溢れていて、すぐに満たされた気分になってしまう分、街に対して消費者的で、冷めている部分があるかもしれません。近々子どもが産まれることもあって、将来的にはお互いの実家のある栃木県に戻りたいねと話しています。2人とも栃木市に実家があるわけではないのですが、慣れ親しんだ街だけでなく、新しい街を開拓してみてもいいかなと思って、今回、やどかりの家を利用させていただきました。



やどかりの家で暮らす

利用前は古めかしいイメージがありましたが、お風呂などの水回りがとても綺麗で、むしろ清潔感を感じるくらいでした。スーパーや雰囲気の良いお店が徒歩圏内にあって、生活には不便しませんし、街中の立地ですが夜はとても静か。生活の場としてすごくバランスが良いと感じました。

実際に暮らすわけですから、私は千葉県、妻は都内の職場に、毎日電車で通勤もしてみました。事前の準備をいろいろしていたのですが、実際に通勤してみると、心配しすぎたなという印象です。栃木市

からの都内通勤は充分現実的だと思います。やどかりの家から駅までの巴波川沿いの歩道も、景色や空気が気持ちよくて、歩くには少し距離がある分、すごく楽しめました。街中のいろいろな路地を歩いて暮らすことができるやどかりの家の立地は、絶妙だなと思います。

いろいろな人やものに会える街

市内の巴波川で行われていたダックレース(※)に参加してみたいんです。海外発祥のイベントを、日本の方と外国の方が一体となって楽しんでいる光景は、すごく感動的でした。栃木市は、商人の街として栄えてきた歴史を持つ街ならではの、寛容性や多様性を持っていて、一般的な地方都市にはない、「こういうところに住みたいな」と感じさせる魅力がありますね。子育てにとってもきつと大切なことで、子ども達がいろんな人やものに出会えるということは、子育てがしやすいというだけでなく、子どもの成長にとっても優れた環境だと言えると思います。



※ダックレース：プラスチックの黄色いアヒルを川に流して順位を競うイギリス発祥のイベント

まずは試してみよう

実は最初、妻にやどかりの家を使ってみないかと聞かれたとき、手間も掛かるし、結構遠いところにある気がして、少しためらいがあったんです。けれど、実際に暮らしてみても知ったことや感じたことが、初めに感じていたためらいの気持ちを上回るほどたくさんあったので、皆さんも気後れすることなく試してみてください。やどかりの家を利用するなら、3泊以上がオススメです。栃木市の生活を繰り返してみることで、新たな発見やリアルな暮らし、そして、いろいろな顔の栃木市が見えてくるはずですよ。



- ・街中を流れる川と、そこで生活する人たちの営みが、とても自然な形で調和している姿に感動しました。
- ・街並みの所々に昭和期を思い出して、とても心が落ち着く生活を送ることができました。
- ・高い建物が少ないので空が広く、開放的でゆったりとした街並みを散策することができました。
- ・近所の銭湯へ行ったり、食料を買出しに出かけたり、リアルな生活を体験することができました。
- ・実際に暮らしてみても、田舎でもなく都会でもない、ちょうど良い街だとよく分かりました。
- ・市役所を探していたら、何かお困りですか？と車を停めて教えてくださった素敵なお夫婦に出会いました。

- ・家の前を流れる堀を鯉が泳ぐ姿に風情を感じました。
- ・お風呂で窓を開けて浴槽に浸かっていると、植物や土の匂いを感じてとても癒されました。
- ・おばあちゃんの家に戻ってきたような懐かしさやわくわく感がありました。
- ・家が広くて子ども達が大はしゃぎでした。
- ・お風呂などの水回りがリフォームされていて、清潔感があり、とても使いやすかったです。
- ・日常生活に必要なものがほとんど揃っているので、荷物が少なくすんで助かりました。
- ・スーパーが近くにあり、市役所や街の大通りまでわずか徒歩5分と、とても便利な立地でした。